令和3年度
事業計画書
収支予算書

市民参画型の共生社会をめざして

ー耕そう・まこう・育てようー

特定非営利活動法人　山梨県ボランティア協会

山梨県ボランティア協会　令和3年度事業計画書

■ 基本理念　　善意は世界を前進させる

■ 推進目標　　「よりよく生きたい」という善意(goodwill)を
社会貢献へと結びつける

■ 取組方針

2021年・令和3年8月ボランティア通りにオープンの「やまなし地域づくり交流センター」は、多様な主体が交流・連携し、パートナーシップのもと、起業・創業・社会貢献活動等地域経済の活性化と地域課題の解決に向け、「住民の主体的な参画と地域コミュニティー活性化に資する中核的な拠点を目指しております。(県説明資料より抜粋)

オープンに合わせ、山梨県ボランティア・NPOセンターは、県防災新館1階から交流センターの3階に移動し、山梨県社会福祉協議会と山梨県ボランティア協会(以下「県V協」という。)が共同で運営にあたり、山梨県のボランティア、NPO活動の普及、促進を図ってまいります。

■ 重点事業

Ⅰ こども若者応援事業

青少年が体験活動ボランティア活動に「参加・体験・学習」する場づくりに取り組みます。

Ⅱ ひと・まち・くらし応援事業

パートナーシップに基づく多様な主体との連携協働により地域の課題解決に取り組みます。

Ⅲ 県V協中間支援組織基本事業

県民の社会貢献活動促進で中間支援組織の存在意義向上と運営財源創出に取り組みます。

■ 法人運営

中間支援組織しての持続可能な法人運営に向けて次の取り組みを図ります。

1 組織の強化 ➡ 女性の参画拡大、次世代対応体制の整備

2 ガバナンス・コンプライアンス強化 ➡ 定款の見直し・必要な規程と体制の整備

3 中間支援組織の基盤強化 ➡ 自立性を高め存在意義を高める基本事業の展開

4 事務局体制の整備強化 ➡ 事務局スタッフの確保、事務所の確保、運営費の確保

■ 実施事業

Ⅰ こども若者応援事業
青少年が体験活動ボランティア活動に「参加・体験・学習」する場づくりに取り組みます
山梨県教育庁生涯学習課を窓口に国立教育政策研究所・社会教育実践研究センターに登録
都道府県・市区町村体験活動ボランティア活動支援等一覧全国センターWEBサイトに掲載
「やまなし青少年体験活動支援センター」としてのプログラム開発・ソフト事業でもあります

1 やまなし子どもの居場所づくり応援事業 ～活動助成による「食」のインフラ支援～
こども食堂支援「物流支援プロジェクト(ロジ拠点・ハブ拠点整備)」構築を図ります
メーカーからこども食堂まで物流支援の流れと団体を繋ぐプログラム(あぷり)を開発します
全国食支援活動協力会・新型コロナ緊急支援助成事業・全国15か所に山梨が選定されてます

2 防災こども食堂普及事業 ～27市町村での展開を目指します～
災害などが発生した際に大切な命を守るためのシミレーション体験を行う
非常食・アルファ化米などを食べる体験を通していざという時のスキルを身につける
こどもたちの身近な地域・市町村において「体験プログラム」としての普及を図る

3 こどもが主体となるGO TO あぷり事業 ～プログラム開発にチャレンジします～
GO TO CAMP in本栖寺・いのちをつなぐ支援活動を応援！～支える人を支えよう～
GO TO PARK 富士川町クラフトパーク・子どもと学生の交流・母親癒しプログラム有
GO TO etc・・・こどもを主体としたこどもたちに必要なあぷり(プログラム)を開発する

4 WITH コロナ・キャラバン隊派遣事業 ～命を守る・健康安全響育を推進します～
四季を満喫しながら五感を使ったリズム運動を通して「健康」な心と体をつくる
講話や体験活動から「自己防災意識」や「故郷やまなし」への愛着等を養うチャンス
ステキで元気な❝おねえさんやおにいさん・学生❞の皆さんがおじゃまします

5 その他必要に応じての対応を図ります

Ⅱ ひと・まち・くらし応援事業
住民の主体的な参画と地域コミュニティー活性化に資する事業の推進に取り組みます
パートナーシップに基づく多様な主体との連携協働・ネットワークづくりに取り組みます
起業・創業・社会貢献活動等地域経済の活性化と地域課題の解決に取り組みます
やまなし地域づくり交流センターと連携・協働しての取り組み事業でもあります
事業の具体的な内容は関係者との話し合いによりつくりこんで随時実施していきます

1 やまなし未来共創事業 ➡ 山梨総合研究所と連携し「農福連携事業」(想定)の推進

2 地域支え合い事業 ➡ 市町村社協と連携し「第3層の取組み実践」の普及と啓発

3 災害・防災推進事業 ➡ 市町村社協と連携し「第3層の取組み実践」の普及と啓発

4 多文化共生推進事業 ➡ 「外国人の住民としての取り組み実践」の普及と啓発

5 高齢者の健康・生きがい事業 ➡ 高齢者の健康生きがいに関する相談・情報提供

6 女性の参画拡大・活躍応援事業 ➡ 女性の活躍・取り組みをレポートしながらサポートする

7 一人ひとりの輝きファッション事業 ➡ 高齢者・障がい者・外国籍の方の輝きの場づくり

8 その他必要に応じての対応を図ります

Ⅲ 県V協中間支援組織基本事業

県民の社会貢献活動への参加を促進するため
「きふの窓口」による《寄付文化の醸成、定着》と
「ボランティアの窓口」による、《ボランティアの機会創出》を行います
加えて、動画放送局「Channel V」と社会貢献情報誌「やってみなはれ（仮称）」により
《情報の共有化》を図ります
これらは、中間支援組織としての県V協の存在意義を成す基本事業となります
さらに、《情報の共有化》の派生事業として「福祉作業所などの商品販売サイト」を立ち上げ
商品を通したコミュニケーション機会の創造を図ります
これらの事業を通して、県V協の自主自立に不可欠な運営財源の創出を図ります

1 「きふの窓口」

県V協認定NPO法人取得申請。寄付者への寄付控除団体となる
「寄付金」「寄付物資」と「社会貢献活動」とのアレンジ
「遺贈きふの窓口」も設置。公正証書遺言の作成のサポート
★事務手数料収入※司法書士に協力要請

2 「ボランティアの窓口」

「ボランティア希望者(個人・団体)」 と 「社会貢献活動」の登録窓口
「ボランティア希望者(個人・団体)」 と 「社会貢献活動」とのアレンジ
県V協の会員となっていただくことにより掲載可能となる ★会員・会費収入拡大

3 動画放送局「Channel V」

社会貢献活動を中心とした主に動画による情報提示
各地のケーブルテレビ局との連携を模索する。(動画提供・取材協力)
★社会的意義があると思われるテーマを扱い個人・企業を問わず
スポン サーになってもらうことで維持費と県V協の収益を生み出す可能性を探る
例えば、企業のCSR活動に特化した番組を制作することで制作料をいただく等

4 社会貢献情報誌「やってみなはれ(仮称)」

主にシニア向け情報媒体。Channel Vでの話題を中心に、社会貢献活動を掲載
県V協の取り組みの全体像がわかるような紙面構成を心がける
「スポンサー」(広告)及び「流通への協力」などの要請を行っていく
例 スポンサー ➡ サントリー、その他
例 流通協力 ➡ 老人クラブ、シルバー人材センター、年金受給者協会等

5 「福祉作業所などの商品販売サイト」

生産過程・販売・販売益などにおいて地域づくりに貢献する商品をまとめて提示する
福祉作業所などの実情を提示できる舞台となり作業所などの販売促進につなげる

6 その他必要に応じての対応を図ります

■ 法人運営

中間支援組織しての持続可能な法人運営に向けて次の取り組みを図ります

1 組織の強化 ➡ 女性の参画拡大、次世代対応体制の整備

役員改選 ①女性の参画拡大を図る
②次世代対応を図る
③理事の補充を図る

業務執行 ①迅速な方針決定
②定期的な協議を図る
③ZOOM等の活用を図る
④役割分担による業務の執行を図る

2 ガバナンス・コンプライアンス強化 ➡ 定款の見直し・必要な規程と体制の整備

定款 ①事務所・所在地を山梨県甲府市に置くとする
②役員任期2年。表記の見直し（総会から総会まで）
③目的・実施事業の見直し(2021年以降のあり方と進むべき道を再確認)

規程 ①倫理規程
②役員の利益相反防止のための自己申告等に関する規程
③コンプライアンス規程
④監事監査規程
⑤内部通報(ヘルプライン)規程
⑥リスク管理規程
⑦情報公開規程

3 中間支援組織の基盤強化 ➡ 自立性を高め存在意義を高める基本事業の展開

自立性 ①認定NPO法人の申請・取得を図る
②遺贈寄付の受け入れ・対応を図る
③財政調整基金の設置・運用を図る

有用性 ①多様な主体との連携協働事業の積極的な推進を図る
②事業推進室を設置し主体的・創造的な活動の推進を図る

4 事務局体制の整備強化 ➡ 事務局スタッフの確保、事務所の確保、運営費の確保

事務局 ①事務局長(出納責任者)
②事務職員(会計責任者)
③定款に明記する「事務所」を設置・確保する

運営費 ①職員費
②事務費
③事業費等 ➡ 法人運営に必要な運営費を確保する

委嘱等 ①山梨県ボランティア・NPOセンター運営委員会 委員
②環境パートナーシップやまなし 委員
③山梨県障害者福祉ふれあい会議 理事
④公益財団法人山梨みどり奨学会 理事
⑤公益財団法人長田ふるさと財団運営委員会 委員
⑥公益財団法人鈴木助成事業財団 評議員
⑦中央ろうきん助成制度❝カナエルチカラ❞ 選考委員

特定非営利活動法人　山梨県ボランティア協会　令和3年度　収支予算書

勘定科目名称	令和3年度 予算額	令和2年度 決算額
《経常増減の部》		
【経常収益】		
【受取会費】		
正会員受取会費	333	333
賛助会員受取会費	159	159
団体会員受取会費	363	363
企業会員受取会費	160	160
受取会費　計	**1,015**	**1,015**
【受取寄付金】		
受取寄付金	100	271
受取寄付金　計	**100**	**271**
【受取助成金等】		
民間助成金	120	120
事業助成金	1,413	3,196
受取補助金	0	0
負担金	7,398	0
委託金	0	3,279
受取助成金等　計	**8,931**	**6,595**
【その他収益】		
手数料	100	0
受取　利息	0	0
雑　収　益	1	105
その他収益　計	**101**	**105**
経常収益　計	**10,147**	**7,986**

勘定科目名称	令和3年度 予算額	令和2年度 決算額
【経常費用】		
【事業費】		
（人件費）		
役員　報酬(事業)	0	0
給料　手当(事業)	5,920	2,472
法定福利費(事業)	992	428
退職給付費用(事業)	265	0
通　勤　費(事業)	115	55
福利厚生費(事業)	13	35
時間外手当(事業)	93	0
人件費計	**7,398**	**2,990**
（部門別）		
啓発普及事業	700	147
養成訓練事業	0	0
連絡調整事業	0	400
調査研究事業	50	0
相談支援事業	20	33
子どもの居場所づくり	1,413	649
部門別計	**2,183**	**1,229**
（部門詳細）		
印刷製本費(事業)	0	11
会　議　費(事業)	0	0
旅費交通費(事業)	0	0
車両経　費(事業)	0	388
通信運搬費(事業)	0	123
消耗品　費(事業)	0	72
修　繕　費(事業)	0	66
水道光熱費(事業)	0	0
賃　借　料(事業)	0	11
使用料借上料(事業)	0	0
保　険　料(事業)	0	29
諸　会　費(事業)	0	184
事業委託費(事業)	0	15
支払手数料(事業)	0	10
運営費(事業)	0	320
雑　　費(事業)	0	0
その他経費計	2,183	1,229
事業費　計	**9,581**	**4,219**

特定非営利活動法人　山梨県ボランティア協会　令和3年度　収支予算書

〈千円単位〉

勘定科目名称	令和3年度 予算額	令和2年度 決算額
【管理費】		
（人件費）		
役員　報酬	500	0
給料　手当	635	0
法定福利費	0	0
退職給付費用	0	0
通　勤　費	0	0
福利厚生費	0	0
人件費計	1,135	0
（その他経費）		
印刷製本費	40	30
会　議　費	10	4
旅費交通費	10	0
車　両　費	0	0
通信運搬費	132	120
消耗品　費	80	77
修　繕　費	95	93
水道光熱費	0	0
地代　家賃	230	660
使用料借上料	15	8
賃　借　料	0	0
業務委託費	0	0
接待交際費	0	0
新聞図書費	0	0
減価償却費	0	0
保　険　料	0	0
諸　会　費	5	5
リース　料	0	0
租税　公課	10	3
支払手数料	33	18
支払　利息	0	0
貸倒引当金繰入額	0	0
雑　　費	50	130
その他経費計	710	1,148
管理費　計	**1,845**	**1,148**
経常費用　計	**11,426**	**5,367**
当期経常増減額	−1,279	2,619

勘定科目名称	令和3年度 予算額	令和2年度 決算額
《経常外増減の部》		
【経常外収益】		
退職共済	0	0
固定資産売却益	0	0
過年度損益修正益	0	0
経常外収益　計	0	0
【経常外費用】		
退職金	0	0
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	0	0
災害　損失	0	0
貸倒　損失	0	0
過年度損益修正損	0	0
経常外費用　計	0	0
《正味財産増減の部》		
税引前当期正味財産増減額	−1,279	2,619
法人税、住民税及び事業税	0	0
経理区分振替額	0	0
当期正味財産増減額	−1,279	2,619
前期繰越正味財産額	2,080	1,899
次期繰越正味財産額	**801**	**4,518**

ボランティア

それは　勇気　それは行動
それは　分かちあうよろこび

誰かのために
してあげるものでもなく

誰かのために
しなければならないものでもない

みんな　同じ空の下

ともに生きる　仲間たちが
ともにふれあい　ともにとりくみ
心の通いあう私たちの社会を
みんなでつくること

踏み出そう
あなたのその一歩を

支えあおう

かぎりなき明日を　拓くために・・・